

平成28年度石狩市奨学審議委員会議事録

日 時：平成28年7月19日（火）

9時30分～10時50分

場 所：石狩市役所本庁舎 2階
201会議室

出席委員 市内中学校長4名：岡本委員、福山委員、水野委員、小笠原委員
民生委員 2名：東委員、中川委員
学識経験者 2名：原田委員、斉藤委員 計 8名

欠席委員 市内中学校長1名：三浦委員
学識経験者 3名：青柳委員、久保田委員、加藤委員 計 4名

事務局 鎌田教育長、佐々木生涯学習部長、安崎学校教育課長、扇学校教育担当主査、
田原主任

傍 聴 個人情報を取り扱うことから非公開

会議次第

1. 教育長挨拶

2. 委員長及び副委員長選任

委員の互選により、福山委員長、小笠原副委員長を選出した。

3. 諮問

平成28年度奨学生の選考について

4. 審議

審議に先立ち、事務局において資料等の説明を行い、資料は審議終了後に回収した。

志願者 97名（高等学校 67名、高等専門学校 2名、大学 28名）

【応募状況：事務局説明】

- ・今年度の志願者数は、高等学校67名、高等専門学校2名、大学28名の97名であり、昨年度の志願者数は、高等学校52名、高等専門学校3名、大学22名の77名である。
- ・今年度の志願者のうち、前年度に奨学生として選定されていたものは、高等学校26名、高等専門学校2名、大学19名の47名である。
- ・昨年度は、60名を奨学生として選定した。なお、今年度の予算は昨年度と同額であり、高校生（高等専門学校生1－3年含む）と大学生の割合や入学仕度資金の必

要な新1年生の人数、高校生（高等専門学校生1－3年含む）のうち、市町村民税所得割額が非課税の世帯が対象となる「高校生等奨学給付金」を受ける資格があるものの人数などにもよるが、昨年度以上の選考者が見込まれる。

【本年度選考基本方針】

- ・ 他の奨学金制度が利用できないなど学資の工面が困難で、経済的に困窮している家庭のうち、成績が優秀なものを予算の範囲内で選考する。
- ・ 高校生（高等専門学校生1－3年を含む）、大学生の志願者のどちらに重きを置いて選考すべきかといえば、現状では中学卒業からの就職は非常に厳しく、ほとんどが高等学校に進学していること、また、高校生の場合は、大学生に比べ奨学金制度の充実度が劣り、更に大学生はアルバイト等で自ら学費等を賄うことができるという点からも、高校生に重きを置いて選考する。
- ・ きょうだいで応募していて、そのいずれも選考基準を満たしている場合は、より多くの家庭に奨学金の受給の機会を与えるために、きょうだいのうち、いずれか1人を選考するという考えもあるが、昨年度と同様に、他の志願者と区別することなく、個人毎に選考する。
- ・ 前年度に奨学金を受けていた者でも、成績やその他の志願者の状況で選考しない場合も十分あり得る。

5. 答申

高等学校55名、高等専門学校2名、大学15名の計72名を平成28年度奨学生として選考する。

平成28年7月27日 議事録確定

石狩市奨学審議委員会 委員長 福山 和彦